

まちの話題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。
問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113



水高まぐろに大行列

魚センターでまぐろ祭



▲200人を超す大行列ができていました

津屋崎漁港のお魚センターうみがめで11月26日、27日にまぐろ祭が開催され、水高まぐろが販売されました。水高まぐろとは、県立水産高校の生徒たちが2か月間のハワイ沖でのえ縄漁業実習で捕ってきたまぐろのことです。地元の人に味わってもらおうと3年前から直売が始まりました。今年はキハダマグロやメバチマグロなど約8・5tが捕れました。

おいしくて新鮮なまぐろが安く買えるということで、朝10時の販売開始前からたくさんのお客さんが列をなしていました。当日は生徒たちも店頭立ち、お客さんにまぐろの種類や食べ方を笑顔で説明していました。西福間の木下さんは「去年初めて食べておいしかったので、今年も楽しみにしていました。広報紙でも特集されていたし、去年よりお客さんが多いですね」と笑顔で語ってくれました。

幻想的な古墳群

古墳のイルミネーション



▲手作りで人のぬくもりを感じるイルミネーション

世界遺産登録を目指す「新原・奴山古墳群」で11月12日から12月9日まで、勝浦地域郷づくり推進協議会主催の「古墳のイルミネーション」が開催されました。竹灯や竹のオブジェなどと組み合わせられたイルミネーションが飾られたほか、古墳もライトアップされ、ふだんのどかな田園風景とはまったく異なる幻想的な光景がみられました。竹灯やオブジェは地元の人たちが竹を切り出して作ったものです。勝浦在住の一人に話を聞いたところ「古墳群を広くアピールして地域が活性化することで、地元の人たちにも喜んでもらえたい」と語っていました。

おいしい林檎を味わって

長野県松本市から林檎のプレゼント



▲松本市の坪田副市長(左)から小山市長(右)に

11月4日、市と都市間交流を続けている長野県松本市から、松本市特産の黄色い林檎「シナノゴールド」1040個をいただきました。

林檎は市内の全小学校に配り、約4千人の子どもたちが給食で味わいました。松本市の坪田副市長は「子どもたちに松本産林檎のおいしさを知ってもらい、両市の絆がいつそう強いものになることを期待します」と語っていました。

白砂清松を体感

海岸松林ウォークふくま・宮司・津屋崎



▲草が刈られ歩きやすく整備された松林

福間、宮司、津屋崎の松林を舞台に、海岸松林ウォークが10月30日に開催されました。3回目の実施となった今回は約580人が参加。日頃の清掃活動できれいに手入れされている松林や海岸を、楽しみながら歩いていました。参加者の一人は、「ここにお弁当を持ち寄って、みんなでピクニックするのもいいですね」と語り、松林の緑に包まれた雰囲気を感じていました。

まごころ込めて作っています

ふくつ・まごころマーケット



▲気に入った商品を手取るお客さん

イオンモール福津で11月26日、まごころマーケットが開催され、市内の障がい者施設で製作された食品や日用品などの「まごころ製品」の販売などが行われました。施設の人たちは、笑顔でお客さんに呼びかけたり買い物に来た子どもといっしょに商品を選んだりとお客さんとの交流の場にもなっていました。

地域の人に支えられて

サンテラス祭り



▲焼きそばやカレーが販売されていた出店

11月26日、福間サンテラスで11回目のサンテラス祭りが開催されました。大勢のお客さんが訪れ、ステージや出店などでにぎわっていました。小峯理事長は「皆さんの協力で今年も無事開催できました。障がいのある人もない人も、安心して地域で暮らせるようがんばっていきます」と語ってくれました。